ハトダヨ
2017年
10月号

函館市中央図書館だより

編集・発行　函館市中央図書館
指定管理者 TRC 函館グループ
TEL　35-5500　FAX　35-5525

第18号 平成29年10月1日 発行

予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんはご存知でしょうか。
ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。
ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

＼平成29年9月1日現在，予約回数の多かった本をご案内しています／

1	蜜蜂と遠雷	恩田　陸／著
2	素敵な日本人	東野　圭吾／著
3	騎士団長殺し　第２部	村上　春樹／著
4	騎士団長殺し　第１部	村上　春樹／著
5	我らがパラダイス	林　真理子／著
6	月の満ち欠け	佐藤　正午／著
7	この嘘がばれないうちに	川口　俊和／著
8	アキラとあきら	池井戸　潤／著
9	コーヒーが冷めないうちに	川口　俊和／著
10	劇場	又吉　直樹／著
11	BUTTER	柚木　麻子／[著]
12	九十歳。何がめでたい	佐藤　愛子／著
13	みかづき	森　絵都／著
14	君の膵臓をたべたい	住野　よる／著
15	変幻	今野　敏／著
16	夜の谷を行く	桐野　夏生／著
17	コンビニ人間	村田　沙耶香／著
18	かがみの孤城	辻村　深月／[著]
19	罪の声	塩田　武士／著
20	AX	伊坂　幸太郎／著

イベント告知

五稜郭タワー　第45回函館文化発見企画・中央図書館
郷土の歴史講座
幕府軍艦「開陽」の軌跡

日　時：平成29年10月21日（土）
　　14時～15時30分（開場13時30分）
場　所：函館市中央図書館視聴覚ホール
講　師：藤島　一巳 氏
　　（江差町文化財調査委員会　委員長）
定　員：150名（申込み不要・当日受付）参加費：無料
お問合せ：五稜郭タワー株式会社　講演会担当
　　☎0138-51-4785（9：00～17：00）

図書館員の
ブックトーク

日　時：平成29年10月21日（土）
　　14時～14時50分（開場13時30分）
場　所：函館市中央図書館　２階　大研修室
　　申込不要（出入り自由）。
・昨年も好評のスタッフのおすすめ本をご紹介します。
来てくれた方には読書手帳をプレゼント！

図書館で巡回展　**ドナルド・キーン　石川啄木の日記を読み解く**
～最初の現代日本人～
日　時：平成29年9月30日（土）～10月26日（木）
場　所：函館市中央図書館　回廊展示コーナー
　　館内展示コーナー

ハトダヨにしか
載っていない！

ぜひ読んでみてください！

スタッフのおすすめ本

棚：A4～A6
請求記号：210.25 ｺﾝ

タイトル：「ときめく縄文図鑑」

文：譽田　亜紀子　出版社：山と渓谷社　（2016 年 12 月）

縄文時代の人たちが丁寧に作り上げた石器や土器を、ユーモラスなコメントとカラー写真で紹介しています。思わずクスッと笑ってしまうお顔の土偶や綺麗な彫刻がなされた装飾品など、1 万年以上続いたといわれる時代からの贈り物を堪能できます。

北海道で初めて国宝に指定され、函館でも「カックウ」の愛称で親しまれている中空土偶・茅空や、道南森町で発見されたイカ形土製品も紹介されています。

「縄文人もお洒落を楽しんでいたのかな…」「もしかしていかめしを食べていた?! 」など、遠い昔に想いを馳せながら眺めることができます。

棚：湯川図書室ほか
請求記号：F ｼﾊ

タイトル：「夢より短い旅の果て」

著者：柴田　よしき　出版社：角川書店（2012 年 6 月）

行方不明になった初恋の相手である叔父を探すため、手掛かりを求めて大学の鉄道同好会に入った主人公の女性。少し地味目のお話ですが、全体的にゆったりとした心地よい時間の流れが感じられる小説です。

主人公が様々な人々との出会いを通して人間的に成長していき、始めは興味のなかった鉄道の旅にどんどん魅了されていく様子が胸に優しく染みわたります。

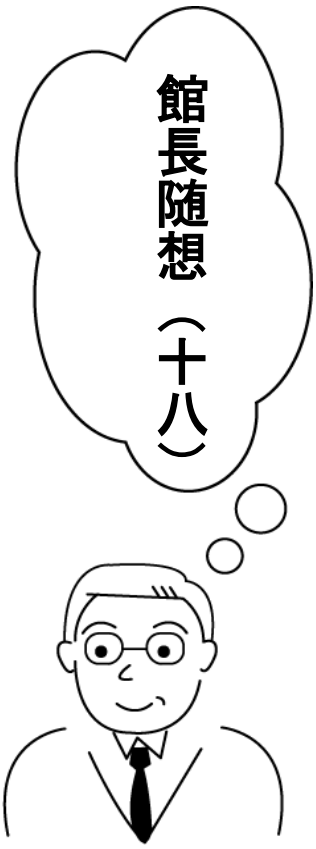
果たして叔父を探し出すことができるのか？失踪の理由は何だったのか？お知りになりたい方は続編「愛より優しい旅の空」も併せて読んでみてください。

棚：J7～J10
請求記号：E ﾊﾂ

タイトル：「わたしのそばできいていて」

作：リサ・バップ　訳：菊田まりこ　出版社：WAVE 出版（2016 年 10 月）

字を読むのがだいっきらいな女の子マディ。国語の音読の時間なんてなによりだいっきらい！　だってつっかえたりするとみんなが笑うから…。ある日、マディがお母さんと行った図書館で出会ったのは、大きくて白い犬・ボニー。その出会いを機に、マディはボニーに本を読んであげることになります。ボニーはマディが音読を間違えても笑わないし、急かしたりもしません。言葉を話せないボニーがマディに寄り添うことで「間違えてもいいんだよ。ゆっくりでいいんだよ」と教えるかのよう。ボニーに自信をもらったマディは国語の音読に臨みます。ページを繰るごとに変わっていくマディの心の動き、マディの心の支えになるボニーの慈愛に満ちた表情が丁寧に描かれています。一つの出会いが少女の心を変え成長させていくお話です。



館長随想（十八）

函館の方なら、新選組副長だった土方歳三が、箱館戦争に従軍し、降伏直前一本木関門付近で戦死したことは誰でも知っていることでしょう。

今年一月中央公論社から出版された逢坂剛著「果てしなき追跡」では、その一本木関門での戦いで、土方に当たった弾は急所をそれて一命を取り留めるという話から始まります。物語では、土方は箱館沖に係留されているアメリカ商船と、同郷で英語の通詞（通訳）として箱館に連れて来た時枝信一郎を密航させる交渉をまとめています。その直後一本木関門で土方は重傷を負い、時枝信一郎とその妹ゆらに助けられます。新一郎は自分の替わりに土方をアメリカ船に乗せ、ゆらを看護に同行させます。長い航海の間にアメリカ人医師の手当て、ゆらの看病のおかげで土方は回復しますが、弾を受けた影響か記憶をなくしています。米国に上陸した土方とゆらは、船の中で目を付けられた保安官ティルマンに追われます。広大なアメリカでの逃避行は、スリルとサスペンスに溢れる、壮大な物語として展開していきます。

この小説を書いた逢坂剛氏は、「カディスの赤い星」で直木賞を受賞し、「百舌」シリーズなど多くのヒット作を書いてきました。「重蔵始末」など時代小説でも名作を数多く執筆しています。

図書館では逢坂氏を函館に招聘し、読書週間の行事の一環として十月二十八日（土）図書館視聴覚ホールで講演していただきます。

「小説の発想」逢坂剛講演会

時間　十四時～十五時三十分

入場無料／申込不要／百五十名（先着順）

デジタル資料館 紹介

高い秋イカ（ph004739）

市内にある魚屋の店先で撮られた１枚で、昭和 38 年 10 月 10 日付の北海道新聞に掲載されています。ここ数年イカの不漁による価格高騰が報じられていますが、当時も函館近海の漁が振るわず、市民の食卓に影響が出ていたようです。

自分に合った本との出会い

自分に合った本ってなんだろう？
本の読みやすさは人それぞれ。
活字びっしりの専門的な本から、写真を多く使って
表現された本。大きな文字で見やすい本。文章が
一切なく絵だけで作られた本もあったりします。

中央図書館では、いろいろなコーナーがあります。
若者・学生向けのヤングアダルトコーナー、
シニアコーナー、大きな字の大活字本コーナー、
説明がわかりやすい本がいっぱいの児童書コーナー。
図書だけではなく、ＣＤの貸出から、
ＤＶＤ・ビデオを楽しめる視聴コーナーまで。

自分と本の相性、そして生活リズムに合わせた
無理のない読書ライフしてみませんか？

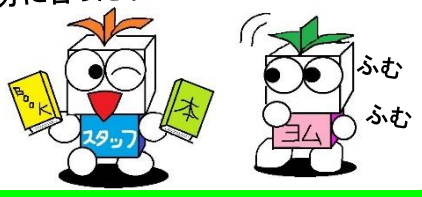
①

②

そんな時は図書館スタッフへ
お気軽に声をかけてください！

③

本を読む速さ、好きなジャンルは
人それぞれ。
自分に合った本がいいですね♪



ちょっとティータイム♪

中央図書館には
喫茶ボルヤンがあります。
おすすめは、
「ケーキセット」です。

④

文庫・新書コーナー

持ち運びしやすいコンパクトサイズの本。だから、お出かけのお供にもいいですね♪
特に時代小説は大・大人気！

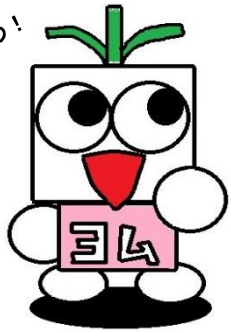
ＣＤコーナー

CDの貸出もしています。クラシックから落語まで、ゆったりとした時間をご提供。
目が疲れた時は耳で読書。

児童書コーナー

児童の本とあなどるなかれ！
読みやすく、そして分かりやすい♪こどもはもちろん、大人も楽しめる本が盛りだくさん。

今日は字が大きくて、
絵もいっぱいの
児童書にしよう！



視聴コーナー

個別のブース席でビデオやDVDを鑑賞できます。あの懐かしい映画もあるし、景観映像はちょっとした旅気分。

シニアコーナー

シニア世代向けの図書資料が充実。健康本から新たな趣味の発掘本まで。第二の人生のサポートに。